

アプリケーション連携ソリューション

AMF-SECurity

ウイルス感染端末初動アクション対策

Trend Micro Apex One™ × AMF-SEC



ウイルス/マルウェア感染端末を エッジスイッチで遮断隔離！拡散防止！

■SDNによる新たなソリューション

アライドテレシスのSDN/アプリケーション連携ソリューション「AMF-SEC」と、トレンドマイクロのエンドポイントセキュリティ「Trend Micro Apex One（旧称：ウイルスバスター コーポレートエディション）」との連携により、ウイルス感染端末の通信をエッジスイッチにて遮断または検疫隔離を動的に行うウイルス感染端末初動アクション対策ソリューションです。

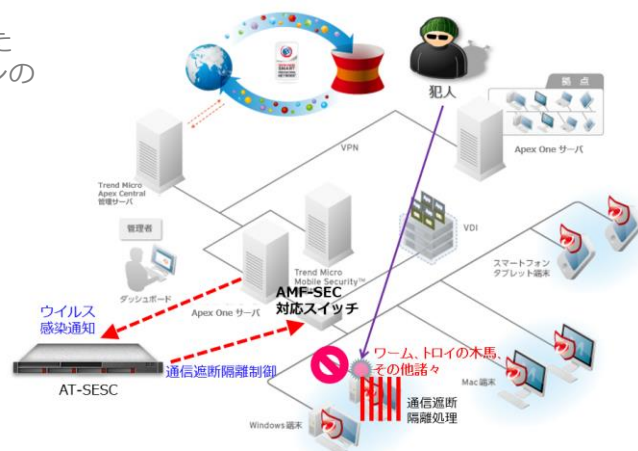
◆ウイルス感染端末初動アクション対策

Trend Micro Apex One によりウイルス感染を検知した端末を仮想抜線し、セキュリティ対策の初動アクションの自動化を図ります。

本連携では、Trend Micro Apex One による下記セキュリティリスクの通知に対応します。

- ・ウイルス/不正プログラム検出
- ・スパイウェア/グレーウェア検出
- ・C&Cコールバック検出

※ 本連携は、ウイルスバスター コーポレートエディション 11.0 以降に対応しております



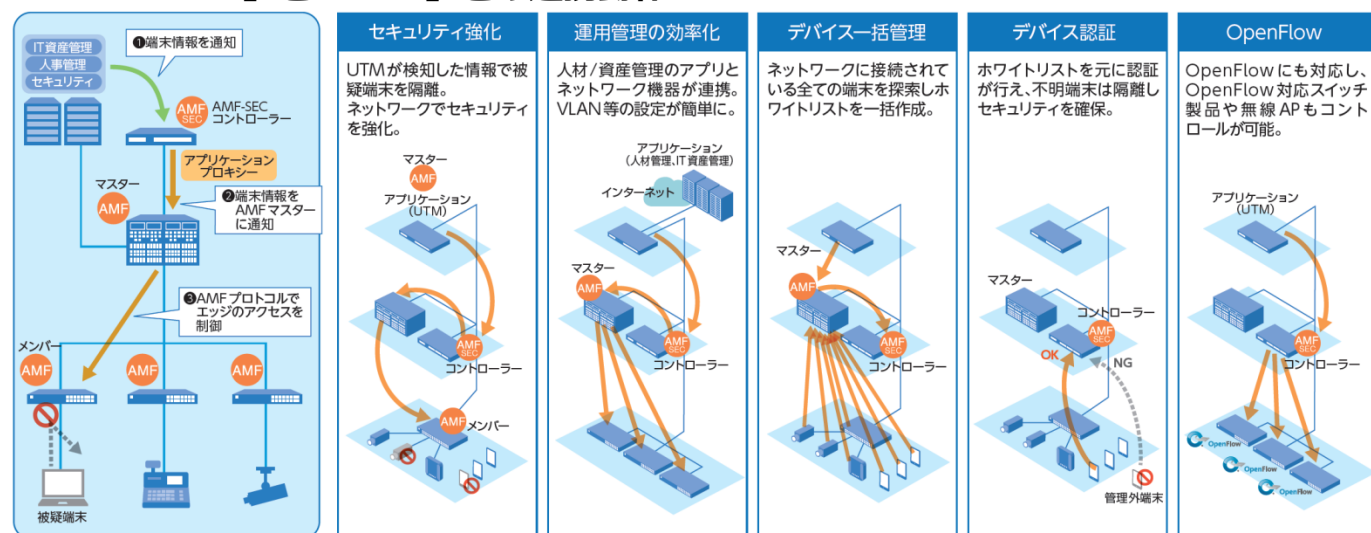
エンタープライズ市場に最適なセキュリティソリューション

「AMF-SECurity」

～アプリケーション連携による企業向けのSDNを実現～

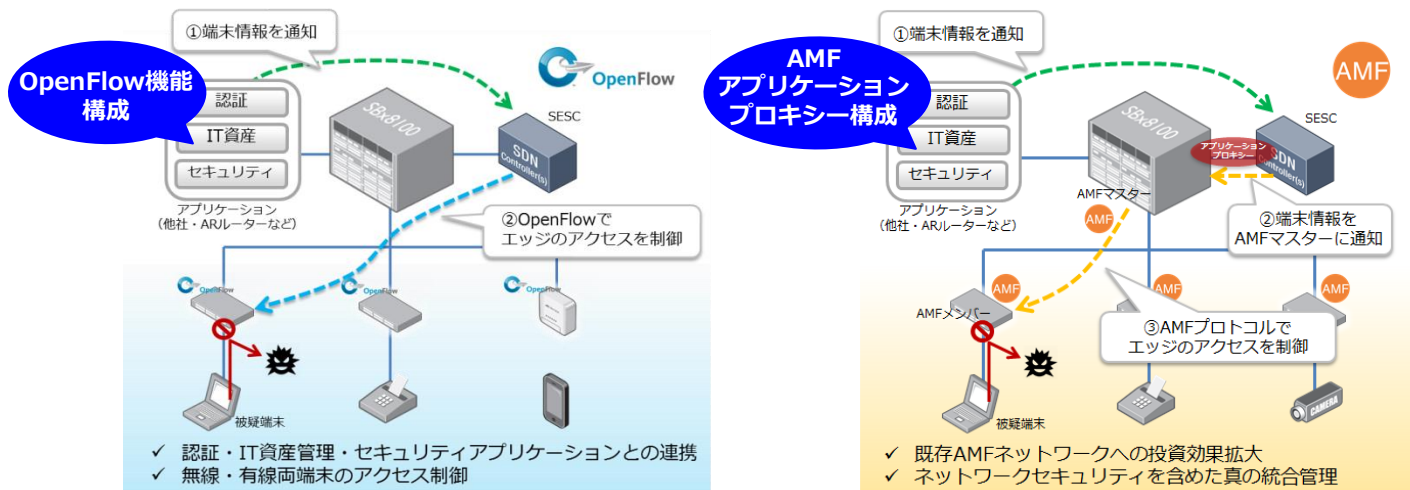
企業のネットワーク運用を最適化するソリューションとしてAMF-SECを開発しました。アプリケーションと連携・連動するネットワークによってユーザートラフィックの動的制御機能をご提供します。セキュリティの強化と、ネットワークの運用にかかるコストの削減、運用負荷の低減を実現しました。以下に、アライドテレシスが提案する「AMF-SEC」およびネットワーク統合管理機能AMFとの連携機能「AMFアプリケーションプロキシ」をご紹介します。

1. 「AMF-SEC」と「AMF」との連携動作



2. OpenFlow構成とAMFアプリケーションプロキシ構成

ネットワーク統合管理機能AMFマスターを介し、各種アプリケーションからの情報により、AMFマスターがエッジのAMFメンバーを制御、端末の通信制御（ホワイトリスト/ブラックリスト制御）を実現します。※ AT-SESC v1.6.0よりホワイトリスト制御に対応



本資料に関する
ご質問やご相談は

TEL: 0120-860442
アライドテレシス株式会社

製品の詳しい情報は
(特徴、仕様、マニュアル等)

ホームページ
<http://www.allied-teleasis.co.jp>